

## 令和6年度の新たな取り組みについて

### 1. 資源循環の「見える化」

プラスチックをはじめとした資源の分別徹底を図り、資源循環を一層推進するため、市民に身近な製品へリサイクルする資源循環の「見える化」を推進していく。

取り組みの一つとして、定禅寺通のケヤキ剪定枝と家庭系プラを材料にタンブラーを製作する。完成したタンブラーはイベントで使用し、定禅寺通のブランディングに活用する。



### 2. 一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに係る排出実態調査

廃棄物処理法第6条第1項に基づき、一般廃棄物の処理に関わる基本的な考え方や方向性について定めるもの。現行の基本計画は令和3年3月に策定し、計画期間は令和12年度までの10年間。

令和7年度に基本計画の中間見直しを実施する予定であり、見直しを行うにあたり令和6年度に家庭ごみ等の詳細な組成分析調査、市民・事業者アンケート調査、ごみ排出量将来予測を行う「実態調査」を実施する。

### 3. 家庭ごみ収集運搬ルート最適化実証

廃棄物の収集運搬業務において、人員確保が大きな課題となっているなか、今後も引き続き生活ごみの定日収集を安定的に維持するためには、収集作業の効率化、収集に付随する業務の自動化を進めることによる、作業員の負担軽減を図る取り組みが必要である。

このことから、作業員の負担軽減を図る取り組みとして、令和6年度に、全国の自治体でも導入が進められている運行管理システムを試験的に導入し、その効果の評価検証のうえ、全収集車両への導入検討の基本資料とする。

(1) 収集品目、実施エリア及び収集事業者

- ・収集品目 : 家庭ごみ
- ・実施エリア : 若林区
- ・収集事業者 : 協業組合仙台清掃公社



(2) 実証事業の概要

ごみ収集車両運行管理システムを利用し、電子地図上において、若林区内のごみ集積所の位置情報を登録し、仙台清掃公社へタブレット端末やGPS端末等を配付の上、収集作業員が収集状況の入力等を行うことにより、収集状況のデータ取得・管理を行う。

得られたデータをもとに収集体制や収集ルートの変更等を行うことによる、若林区内の家庭ごみの総収集時間の短縮効果の検証を行う。

#### 4. 分別促進キャンペーン

プラスチックや紙類等資源物の分別徹底を図り、更なる資源化を進めるため、分別促進キャンペーンとして、各種媒体を通じた周知広報を集中的に行うとともに、分別体験講座や施設見学会等を実施する。

#### 5. 資源循環分野の人づくり

長年にわたり市民、企業・団体、行政の連携により培われてきた本市のごみ・資源循環の取り組みを、近年の新たな動きの担い手である若手実践者やクリエイターらと交え、発展的に継承し、資源循環分野の人づくりと本市発の新たな取組創出を目指す「せんだいリブート」(令和5年度～)を展開。2年目を迎え、環境科学分野(東北大学大学院環境科学研究科)や社会・文化実践分野(せんだいメディアテーク)等の専門家と協働し、トークイベント・市民参加型企画等を展開する。

#### 6. 食品ロス削減

食品ロス削減の実践行動を広く普及させるため、市民向けの実践講座、食べ残しが多いとされる子育て世代に向けた未就学児の保護者グループを対象にした「せんだい食エコリーダー」による出前講座を開催する。

#### 7. 家庭ごみ等指定袋のユニバーサルデザイン化

家庭ごみ及びプラスチック資源指定袋をユニバーサルデザイン化し、色による区別が困難な方や、日本語を母語としない方に配慮した表示へ一新した。主な変更点は、以下のとおり。

(1) 家庭ごみ指定袋の色の変更

現行の指定ごみ袋の色(家庭ごみ:緑、プラスチック資源:赤)は、どちらも同じような茶色に見える方がいるため、家庭ごみ指定袋の色を青みがかった緑色に変更し、区別しやすくする。

(2) フォント

小さくても読みやすい「UD フォント」を使用。また、外装袋の印刷面を広げ、指定ごみ袋の種類を大きく表記し、色に頼らずとも判別できるようにする。併せて、価格、サイズ  
の文字を大きく表記。

(3) 外国語表記の追加

- ・「家庭ごみ」及び「プラスチック資源」を、5言語（英語、中国語簡体字、韓国語、ベトナム語、ネパール語）で表記する。
- ・袋に印字した出し方のポイントに、「やさしい日本語」を使用する。

(4) イラストの使用

家庭ごみに「ワケルくん」、プラスチック資源に「ワケ猫ちゃん」のイラストを使用し、ごみ袋の種類をキャラクターでも判断できるようにする。

(5) 二次元コードの追加

指定袋に、仙台市ホームページの日本語および5カ国語（英語、中国語簡体字、韓国語、ベトナム語、ネパール語）の「資源とごみの分け方・出し方」のページへ誘導する二次元コードを印字。

【家庭ごみ外装袋】

新



旧



【プラスチック資源外装袋】

新



旧



【家庭ごみ指定袋】

新



旧



【プラスチック資源指定袋】

新



旧



## 8. ごみ集積所課題解決実証事業

ごみ集積所の鳥獣被害の課題解決に向け、折り畳み式ごみボックスを活用した効果的な取り組みを検討するため、町内会やクリーン仙台推進員との協働により実証実験を行う。



▲折り畳み式ごみボックス



▲折り畳んだようす

## 9. 定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業

飲食店における食品リサイクルを推進するため、モデル事業を実施し、中小規模の飲食店が食品リサイクルに取り組む場合の課題の改善方法等について検証を行う。

なお、このモデル事業は脱炭素先行地域に係る定禅寺通エリアの取り組みの1つとして実施する。

### ○ 事業内容

- ・実施期間 : 令和6年度6月5日から令和7年3月31日まで
- ・対象エリア : 定禅寺通沿い及び稲荷小路・虎屋横丁
- ・排出方法 : 分別した食品廃棄物をモデル事業専用袋で指定した場所に排出  
(原則として敷地内)

